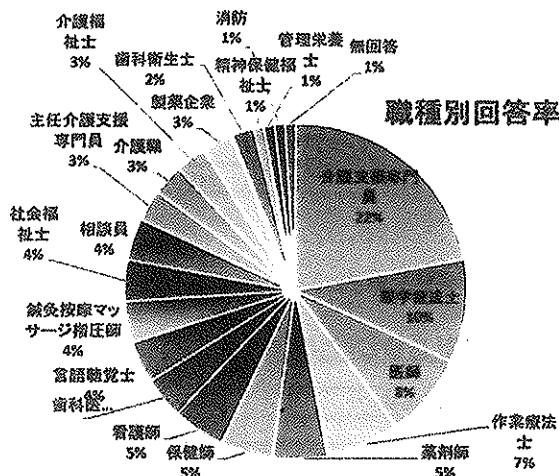


平成30年度第2回多職種連携のための意見交換会 アンケート集計結果

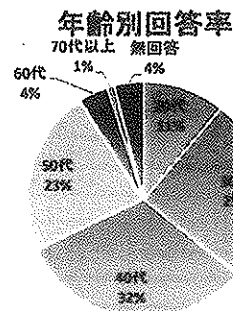
問1 参加者内訳

職種	人数	割合
介護支援専門員	22	22.0%
理学療法士	10	10.0%
医師	8	8.0%
作業療法士	7	7.0%
薬剤師	5	5.0%
保健師	5	5.0%
看護師	5	5.0%
歯科医	4	4.0%
言語聴覚士	4	4.0%
鍼灸按摩マッサージ指圧師	4	4.0%
社会福祉士	4	4.0%
相談員	4	4.0%
主任介護支援専門員	3	3.0%
介護職	3	3.0%
介護福祉士	3	3.0%
製薬企業	3	3.0%
歯科衛生士	2	2.0%
精神保健福祉士	1	1.0%
管理栄養士	1	1.0%
消防	1	1.0%
無回答	1	1.0%
計	100	



参加者年齢

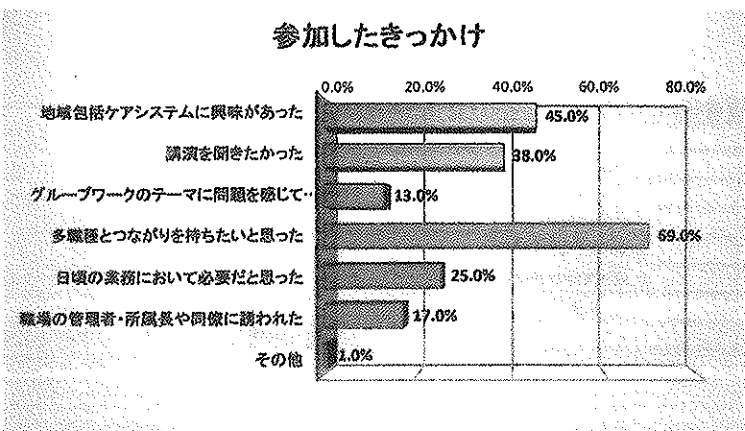
問1	回答数	割合
20代	11	11.0%
30代	25	25.0%
40代	32	32.0%
50代	23	23.0%
60代	4	4.0%
70代以上	1	1.0%
無回答	4	4.0%
計	100	100.0%



問2 参加したきっかけ

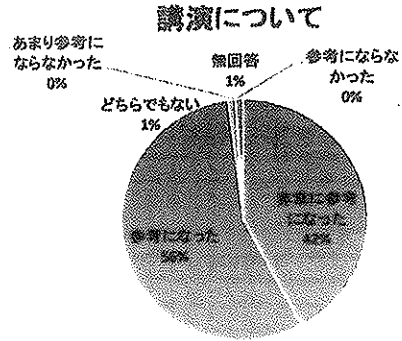
問2	回答数	割合
地域包括ケアシステムに興味があった	45	45%
講演を聞きかかった	38	38%
グループワークのテーマに問題を感じていた	13	13%
多職種とつながりを持ちたいと思った	69	69%
日頃の業務において必要だと思った	25	25%
職場の管理者・所属長や同僚に誘われた	17	17%
その他	1	1%

参加したきっかけ



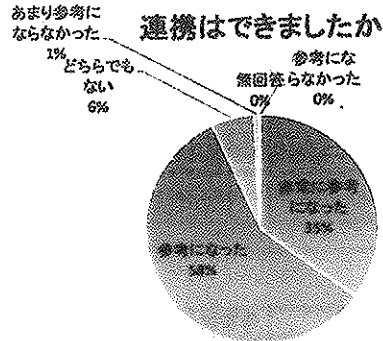
問3 講演について

問3	割合
非常に参考になった	42 42.0%
参考になった	58 56.0%
どちらでもない	1 1.0%
あまり参考にならなかった	0 0.0%
参考にならなかった	0 0.0%
無回答	1 1.0%
	100 100.0%



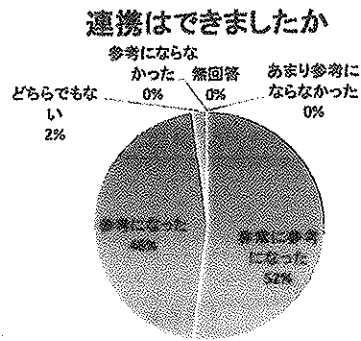
問4 同職種の話し合いについて

問5	割合
非常に参考になった	35 35.0%
参考になった	58 58.0%
どちらでもない	6 6.0%
あまり参考にならなかった	1 1.0%
参考にならなかった	0 0.0%
無回答	0 0.0%
	100 100.0%



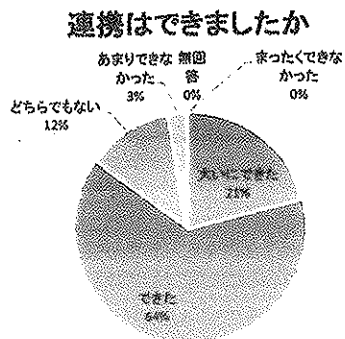
問5 多職種の話し合いについて

問5	割合
非常に参考になった	62 52.0%
参考になった	46 46.0%
どちらでもない	2 2.0%
あまり参考にならなかった	0 0.0%
参考にならなかった	0 0.0%
無回答	0 0.0%
	100 100.0%



問6 日々の業務に活かせる連携ができたか

問5	割合
大いにできた	21 21.0%
できた	64 64.0%
どちらでもない	12 12.0%
あまりできなかつた	3 3.0%
まったくできなかつた	0 0.0%
無回答	0 0.0%
	100 100.0%



問7 今回の意見交換会に参加した感想、気づいたことや取り組んでみたいこと、また今後の意見交換会で議論したいテーマなどがございましたら、ご記入ください。

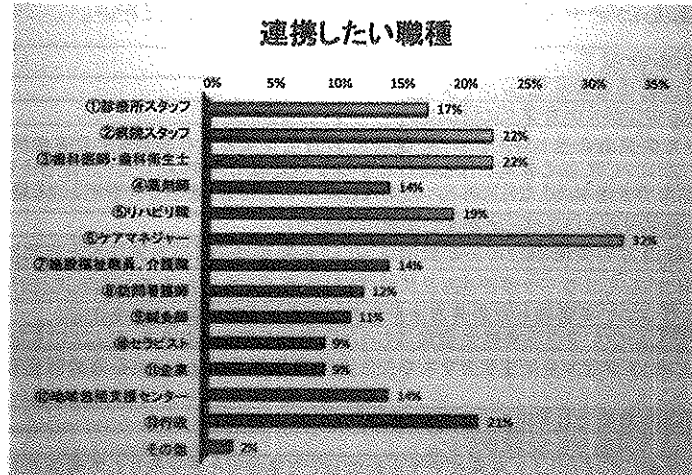
No	1 感想や意見
1	他職種の方の仕事を知ることができました。
2	多職種とのつながりが大切だと感じた。
3	同職種での交流の会はありますが、他職種の方の色々な意見をお聞きする機会が少ないのでとても貴重な時間でした。皆さん地域のことや連携について熱心に考えておられる中なかなか実現できないというもどかしい気持ちを持っているのがわかりました。今回は時間が少なく話し合いきれないところもあったので同じテーマでもっと話ができると良いと思います。
4	具体的に取り組んでいることが聞けて参考になった
5	様々な職種の方や同職種の方が疑問に思っている事や取り組み方法など短時間で話してできてよかったですと思いました。
6	短い時間にいろんなワークが盛り込まれていましたが忙しかつたのでもう少しじっくり話し合い交流をしていきたいと思いました。
7	情報共有について多職種との連携方法を今までと違う形で学ぶことができた。
8	他職種と話し合いができる検討会会議にもっと率先して参加できるようにしていきたいと思いました。
9	名簿についてケアマネで主任ケアマネでも介護支援専門員となっているのは自己申告がないため？ならば主任と記す必要性がないと思うが、...
10	まず同職種の連携に取り組みたいです。
11	他の職種の方の話をもっと聞きたい。
12	職種間で改善してほしいことを共有できたのはとても良かったと思うので各職種ごとにどの職種がどのようなことを求めているのか可視化できるとより垣根を低くできると思いました。
13	いろいろな立場の人がディスカッションを交わすことは色々な気づきを与えてくれ良かった。自分たちがどのように患者貢献できるか考え
14	グループワークはもう少し時間をかけたほうが良いのでは(3~4h)
15	色々な意見が聞けて良かったです。
16	とても良かったのですが話し合うテーマは1つにした方が良いでしょう。時間が短いのにいくつも難しいと思います。名刺交換の時間も作ってもらえるとありがたいです。ある病院の会では最後の1時間は名刺交換会になっていてとても有効です。
17	少し移動や議論と発表の関係が複雑でした。いつも準備等ありがとうございます。
18	これだけの人数の会で進行が大変だったと思います。すぐ工夫されておられたと思います。GWの発表が間延びしていたのでピックアップ+出ていない意見を発表してもらおうような形がスマートかもしれません。
19	今回のような会に初めて参加しましたが、様々な職種からの要望、取り組み内容があることに気づきがありました。製薬会社として何かできることはないかを日々考え多職種の方々とコンタクトを図っていきたく思います。
20	様々な気づきをいただいた。アクションにどうつなげるかが毎回の課題。何か一つでも実行に移したい。
21	今後自分の出来ることとして積極的に自ら連携していくよう行動していきます。
22	地域ケア会議に参加したい。
23	様々な職種との意見交換する場でしか得ないことも学習できた
24	今日参加していない方に参加してもらえよう企画をお願いします。
25	今回の多職種のGWのテーマではワーク時間が短かった。もう少しテーマを絞ってほしいと思いました。
26	グループワークの話し合いの時間が短かった。
27	多職種でどんな取り組みをしていてどうしていきたいのかが知れてとても勉強になった。
28	やはり顔の見える関係づくりは大切であり、シリーズ化して質の向上を目指していければと思います。
29	地域の事業所の方たちが医師との連携がとりにくいと感じている事がずっと続いていることが問題。地域について医師の理解がまちまちなので取り組みは必要。
30	多職種間で話し合いをすることで他の職種の人が困っている事や要望を実際に聞くことができるととても勉強になった。
31	牛久市から参加させていただきましたがこれだけ多くの職種が一同に集まるのは素晴らしいと思いました。時間が短かったのでなかなか議論が深まらず残念でした。
32	最初の着席はムダ、GWの順で座ってないと時間の無駄。GWの説明が盛り沢山すぎて理解できなかった。多分職種別は不要、時間が短すぎて議論が深まらない。グループが多すぎて発表時間も短く消化不良。だったがためになる提案(視点)もありました。

No	2 取り組みたいことや議論したいテーマ
1	多職種交流で使用したシートでゆっくりと話し合える場がまたあるとうれしいです。
2	同職種での交流の会はありますが、他職種の方の色々な意見をお聞きする機会が少ないのでとても貴重な時間でした。皆さん地域のことや連携について熱心に考えておられる中なかなか実現できないというもどかしい気持ちを持っているのがわかりました。今回は時間が少なく話し合いきれないところもあったので同じテーマでもっと話ができると良いと思います。
3	勉強会のカレンダーなどがあると便利だと思う(市民向けも含めて)日時、内容が一目でわかると参加しやすい。
4	座席移動はバタバタ忙しかつたけれどこれまでより多くの方と会えるのは面白かったです。民生委員の方から聞いたことですが民生さんの中にもこうした場に出たい人は少なからずいるとのことでした。各職種の内容についてもっと知り合う機会が必要だと思いました。あるいは各職種がこれまでに情報発信をしないといけないと思いました。 名刺一覧：後日に活用しやすいような形式でまとめてもらいたいです。A3で折り曲げるとPCに取り込みづらい 市内の医療介護情報のWEB上に掲示板が欲しい。(多職種連携勉強会や研修会(川越Drが話されていた認知症)などの情報について
5	今回のテーマでもさらに長い時間で議論したかったです。
6	今つくば市で不足しているサービスについて、またどのように対応しているか
7	OTがどんな職種か知ってもらおう。発信していく。
8	話して終わるのではなく実際に動ける案件に関しては動いていきたい。
9	遠隔診療の推進について
10	このような大人数じゃなくても定期的に交流をしていきたい。意見交換会の地域バージョンを行いたい。
11	同じテーマでいいのもっと深く話すことやアクションプランまで決定していきたい。一日研修にすることやつくば市として参加者には認定やインセンティブが出るようにするとさらに向上が図れると考える。
12	意味のある連携を行っていくために薬剤師として声を上げることができればと思っています。色々な職種の方々とこのような意見交換会で話し合うことで自分の次にやらなければならないことをしっかりと見つめる良いきっかけになっています。

問8 本日の意見交換会を通して、これまで以上に連携したいと思うようになった職種を一つ選び、丸をつけてください。

①診療所スタッフ	17	17%
②病院スタッフ	22	22%
③歯科医師・歯科衛生士	22	22%
④薬剤師	14	14%
⑤リハビリ職	19	19%
⑥ケアマネジャー	32	32%
⑦施設福祉職員、介護職	14	14%
⑧訪問看護師	12	12%
⑨鍼灸師	11	11%
⑩セラピスト	9	9%
⑪企業	9	9%
⑫地域包括支援センター	14	14%
⑬行政	21	21%
その他	2	2%

その他内訳	
・かかりつけ医や二次病院	
・管理栄養士	



【①診療所スタッフ】

- ・特にMSW 病院との連携が難しくいつまでも変わらないから
- ・特に訪問診療医師との連携は在宅ケアに必要

【②病院スタッフ】

- ・病院の方々にも在宅生活のことをもっと知ってもらいたいと思いました。
- ・普段のその方の様子から処方されているお薬の種類や量など疑問に思うことがあるので背景を知りたいと思いました。
- ・特にMSW 病院との連携が難しくいつまでも変わらないから
- ・普段話す機会が少ないため
- ・なかなか書面以外で会う事や、TELをすぐ行えない。もっとスムーズな連携を図れるようにしていきたいです(リアルタイム)
- ・病院のスタッフに浸透していない事が多すぎるので、もう少し身内から理解を深めることが大事だと思った。

【③歯科医師・歯科衛生士】

- ・歯科医師より、協力したいもっと分かりあいたいという熱意を感じた。ケアマネの理解がないと思っていたと分かった。
- ・これまであまり連携したことがない
- ・毎日行っている口腔ケア 密着している為
- ・なかなか書面以外で会う事や、TELをすぐ行えない。もっとスムーズな連携を図れるようにしていきたいです(リアルタイム)
- ・口腔ケアの大切さが重要視されているにも関わらず在宅の現場で導入されないことがある。今後もっと必要と思う。
- ・歯科衛生士さんも情報共有を望んでいるということを知ったため

【④薬剤師】

- ・退院時にかかわってもらえると安心です。
- ・残薬の改善、内服薬の作用・副作用について学んでいきたい

【⑤リハビリ職】

- ・普段話す機会が少ないため
- ・なかなか書面以外で会う事や、TELをすぐ行えない。もっとスムーズな連携を図れるようにしていきたいです(リアルタイム)
- ・必要性が高い
- ・自分にとっては一番未知の領域であるため

【⑥ケアマネジャー】

- ・ケアマネさんが窓口になって他職種の方を紹介してもらいたいです。
- ・中心的存在であるから
- ・訪問内容等患者さん情報を送っていますがご家族様に歯科の必要性を話して下さっているのか疑問を感じたりするからです(ケアマネさんの気持ちかわからない時もあります)これからはこちらから連絡をもっと積極的にとっていきたく思います。
- ・ケアマネジャーさんのハブ機能に期待したい。鍼灸マッサージ師がゆっくり手当てする中で患者や家族から得た情報等を他職種に伝えてもらうために
- ・福祉サービスを管理しているので
- ・ケアマネジャーからの話がないと情報が入ってこない会議に参加できない
- ・退院後の在宅で医療と同じ対応がとれるように他職種(Dr、ケアマネ、Ns)、家族と密に情報共有を取っていくため。情報共有する上で顔を合わせて話し合いの場を設けられるようにケアマネさんを中心に病院と在宅をつなげていきたいため
- ・退院後の生活を総合的にみとくれ、情報を持っている職種だから
- ・患者さんの"生活"まで目が行き届いていませんでした。製品・疾患の情報提供をさせていただくうえでケアマネジャーさんと情報交換を行うことで医療連携に少しでも貢献できるよう努めていきたいです。
- ・いろいろな情報の集まる職種だと思ったので連携することでそこからさらに多職種との連携につながると思ったから

【⑦施設福祉職員、介護職】

- ・今まで接点なかった為
- ・なかなか書面以外で会う事や、TELをすぐ行えない。もっとスムーズな連携を図れるようにしていきたいです(リアルタイム)
- ・PTとのかかわりがとても大切なのにあまり関わっていないと思ったから

【⑧訪問看護師】

- ・直接患者さんに接している訪問看護師に少しでも役に立てればと思う

【⑨鍼灸師】

- ・リハビリ＝マッサージにならないためにお互いの分野の強みを活かすためにつながりを見てるといいと思います。
- ・一番患者さんや利用者さんを心地よくしていただくことができる職種かと思いました。サービスの組み換えなどで有効的に患者さん利用者さんに活用できると思います。

【⑩セラピスト】

【⑪企業】

- ・今まで一緒に話したことがなかった
- ・なかなか書面以外で会う事や、TELをすぐ行えない。もっとスムーズな連携を図れるようにしていきたいです(リアルタイム)

【⑫地域包括支援センター】

- ・今まで一緒に話したことがなかった
- ・様々な職種から発信している情報をどこかで統括する必要があると感じた。市など行政などで情報を集めると職種同士の横のつながりにもつながるのではと感じた。
- ・業務内容が分からないため

【⑬行政】

- ・様々な職種から発信している情報をどこかで統括する必要があると感じた。市など行政などで情報を集めると職種同士の横のつながりにもつながるのではと感じた。

・私の職種仕事内容はかなりの職種の方と連携しています。しかし残念ながら行政の方との機会はありません。このつくば市の住民皆が笑顔で暮らせるためには行政の方々の力が大きいと思われたからです。

- ・顔の見える関係づくりの支援をお願いしたい。情報を与えてほしい。
- ・必要性が高い
- ・いろいろな情報の集まる職種だと思ったので連携することでそこからさらに多職種との連携につながると思ったから

【その他】

- ・かかりつけ医、二次病院との連携を深めたい
- ・管理栄養士の方と自宅で食べるものについて相談がしたい

